



職人の世界では今、人手不足が深刻化しています。人口減少や職人の高齢化など、その理由はさまざま考えられます、「きつい・汚い・危険」というマイナスのイメージが強く、若者に人気がない職種であることも大きく影響しているようです。

一方でリフォーム市場は、消費税増税や物価上昇の影響で新築の購入意欲が

**本格的なリフォーム時代の到来はすぐそこ**

低下していることや、古いものを再生して利用しようという機運が高まっていること、さらにはリフォーム技術が進歩し、築年数の経過した古い建物でも新品同

多大な時間がかかります。しかし、職人の育成には多大な時間が必要です。すでに多くの仕事を抱えて

# リフォームビジネス

売上UPのコツ

## リフオーム職人の育成でできていますか？

### 多能工職人の育成が力ギ

いる現役の職人では、さすがに育成に時間費やす余裕はありません。育成が必要であることを頭では理解しつつも、現実的には自分で職人を育てることができないのです。

こうした状況への対応策として、今注

様の状態にできるようになつたことで、年々その規

崎県西彼杵郡)が運営する「ハウスマリフオーム」育成学院です。こちらは開校からわずか2年で、100名以上の職人を輩出しています。北は仙台から南は鹿児島まで、全国各地から生徒が集まっていることからも、同学院の評判の高さが伺えます。今年の4月には、紅中(大阪府高槻市)が運営する大阪校と、カワイ(静岡県磐田市)が運営する静岡校が新たに開校しました。両校ではすでに、生徒

の募集が始まっています。

「わざか12日で、ここまでできるようになるとは思わなかつた」「大変だけど、自分でやれたやり切ったという達成感がある」「ここで学んで知識や技能は、自分が考えていた以上に需要があると感じた」「お客様から言われた『ありがとうございます』が、これまで言われたどんな『ありがとうございます』

12日間の研修で技術や営業ノウハウ、アフターフォローの仕方、一般教養、現場知識などについて学びます。新社会人には、マナー研修なども行うそうです。

今、特に注目されているのは、住宅総合研究所(長

院)では12日間をかけ、リフオームの技術や営業ノウハウ、アフターフォローの仕方、一般教養、現場知識などについて学びます。新社会人には、マナー研修なども行うそうです。

今、特に注目されているのは、住宅総合研究所(長



ハウスマリフオーム育成学院  
中田 竜 学長

だけ、外注するのと比べ大きく利益率が変わってきます。リフオーム案件を受注するだけでなく、リフォーム事業の収益性を改善するため、さまざまな技術やノウハウを身に付けことができる研修機関は他にもあります。ご興味のある方は、(一社)優良リフォーム支援協会にお問い合わせ下さい。